



とちぎ農産物マーケティング協会 月刊情報

平成29年 6月号 vol.117

平成29年度とちぎフレッシュメイト(16代目)決定!

5月23日(火)栃木県JAビルにて、平成29年度とちぎフレッシュメイト審査会を開催した。

一般応募者23名の中から書類審査・面接審査を経て、宇都宮市在住**岡山蓉右子**(おかやまようこ)さん20歳学生・栃木市在住**小林咲彩**(こばやしあや)さん21歳学生・鹿沼市在住**駒場香苗**(こまばかなえ)さん20歳学生3名を決定した。

6月7日(水)には任命式を行い、知事表敬訪問を予定している。

6月30日(金)当協会通常総会で会員の皆様にお披露目を予定。



駒場 香苗

趣味:お菓子作り、テニス、料理
特技:お菓子作り
好きな食べ物(栃木の農産物)
:いちご、お肉

たくさんの皆様に栃木の美味しい農産物を知っていただけるよう頑張りますので、よろしくお願いたします。



小林 咲彩

趣味:映画鑑賞、ショッピング
特技:ピアノ
好きな食べ物(栃木の農産物)
:いちご、なし

1人でも多くの方々に栃木のすばらしさを伝えられるよう、精一杯の笑顔で頑張ります。



岡山 蓉右子

趣味:トレッキング、スポーツ観戦
特技:神経衰弱
好きな食べ物(栃木の農産物)
:トマト、お米、牛乳

栃木の自然、農産物をもっと知り、学び、たくさんの人に広めたいと思います。頑張りますので、よろしくお願いたします。

■ 栃木県冬春トマトグランプリ第2回本審査会

5月1日(月)～2日(火)にかけて、県・全農・当協会などの審査員が第10回栃木県冬春トマトグランプリの2回目審査を行った(9JA、11ほ場)。審査は品質・収量性・生育状況・病虫害予防・ほ場環境等の立毛審査と食味等について実施した。

1回目の審査結果(2月実施)と7月の最終審査会によりグランプリが決定される。



■ 栃木県洋蘭生産組合総会 開催

5月17日(水)宇都宮市内にて栃木県洋蘭生産組合第47回定期総会を開催した。会員及び関係機関41名が出席し、平成28年度の事業報告・決算報告及び平成29年度の事業計画・収支予算が審議され承認となった。また、役員改選が行われ、齋藤崇存氏(宇都宮市)が新組合長に選任された。

総会前には、第45回とちぎ蘭展表彰式が行われ、栃木県知事賞として隅内正俊氏(上三川町)が受賞した。



■ 果樹部会全体会議 開催

5月24日(水)栃木県JAビルにて、なし生産者及びJA、県関係者などが参加し、「果樹部会全体会議」を開催した。

平成29年度は、早期成園化技術の普及推進に向けた取組や、第2回栃木県なしグランプリおよび若手生産者セミナーなどに取り組むことが確認された。

また、役員改選が行われ、果樹部会長にはJAうつのみやの山口幸夫氏(なし専門部)が再任された。



■ 野菜部会全体会議 開催

5月26日(金)栃木県JAビルにおいて、平成29年度野菜部会全体会議を開催した。地域の特性を生かした野菜産地の育成と低コストで消費者から信頼される安全・安心かつ高品質な野菜の生産拡大を図ること及び各品目の担い手生産者の活動を促進し、需要対応力の高い野菜供給産地としての位置づけを確立するために、野菜品目(トマト・きゅうり・なす・にら・ねぎ・たまねぎ)の研究活動、生産対策、流通対策の実施と関係機関との連携を進めて行くことが決定された。また、役員改選が行われ野菜部会長にJAはが野の鶴見昭氏(なす専門部)が再任された。



■ 栃木県鉢物研究会総会 開催

5月26日(金)宇都宮市内にて平成28年度鉢物研究会総会を開催した。会員及び関係機関50名が出席し、平成28年度の事業報告・決算報告及び平成29年度の事業計画・収支予算が審議され承認となった。また、役員改選が行われ、小野崎末吉氏(県南支部)が新会長に選任された。

総会終了後、栃木県農政部経営技術課 森副主幹による「鉢物生産における土壌肥料の基礎」と題した、研修会を行った。



■ いちご部会全体会議 開催

5月29日(月)、JAビルにおいて、いちご部会全体会議が開催され、役員改選があり、白滝佳人氏(JAはが野いちご部会長)が新部会長に選ばれた。白滝新部会長は、「野澤前部会長から引き継ぐこととなったが、いちご生産と部会のより一層の発展のためがんばりたい」と抱負を語った。

全体会議では、今年度も引き続き「いちご王国グランプリ」の開催、「消費者へのいちごPR事業の実施等」に取り組むことが確認された。



■ 平成29年産栃木夏にら統一目揃え会

5月31日(水)JA全農とちぎ生活部において、平成29年産栃木夏にら統一目揃え会が、にら生産部会代表者・JA・市場・関係機関など約60名が参加し開催された。

これからの栽培管理のポイント・病害虫の防止対策が報告され、夏にらの出荷に際しては、出荷規格を遵守し、特に選別では葉長・軟白部の調整を重点的に注意することなどが申し合わされた。



「とちぎのトマト」PR記事を掲載

県産農産物「トマト」のPR記事を「しもつけの心」April.2017春に掲載した。誌面には、JAしもつけ栃木トマト部会青年部長若色さんに登場いただき、生産者の思いや特徴をまた、とちぎの地産地消推進店「ホテル東日本宇都宮レストランダイニングフオンターナ」の櫻井料理長からは「とちぎのトマト」の美味しさ、認知度向上及び消費拡大を期待。

とちぎの心をお届けします ③

トマト栽培

若色 弘幸さん (栃木市)
JAしもつけ栃木トマト部会青年部長

◆トマト栽培面積 62アール (ハウス)
◆従事年数 14年

若手中心に栽培技術を向上

「一度は外に出たい」と、また、父の栽培技術を引き継ぎたいという思いから、若手中心に栽培技術を向上させるべく、JAしもつけ栃木トマト部会青年部長として活動している。ハウス栽培のトマト栽培は、7月に開始し、10月に収穫が始まる。ハウス栽培のトマト栽培は、7月に開始し、10月に収穫が始まる。ハウス栽培のトマト栽培は、7月に開始し、10月に収穫が始まる。

大地の恵みを産地から

ホテル東日本宇都宮
◆レストランダイニングフオンターナ(イタリアン)

絶品! 「ナポリ風ピッツァ」

「ナポリ風ピッツァ」は、イタリアの伝統的なピッツァで、トマトソースとモッツァレラチーズが特徴です。とちぎのトマトを使用したピッツァは、味と食感が格別です。

記壇に残る時間を

「とちぎの心」に掲載された記事は、生産者の思いや特徴を詳しく紹介しています。読者の皆様にもぜひ読んでいただき、とちぎのトマトの魅力を味わってください。

ブレDESTIネーションキャンペーンイベントを活用した県産農産物PR

とちぎフレッシュメイトが特別仕様「本物の出会い、栃木・DESTIネーションキャンペーン」の専用列車で、本県に來訪する観光客に対しリーディングブランド農産物を中心に、効果的なPRを展開。

【イベント内容】

★5月14日(日)カクテルカーニバル号

区間:新宿～宇都宮

列車内をいちごで装飾し、栃木県自慢のプレミアムいちご「スカイベリー」をPR。

★5月20日(土)・28日(日)・6月3日(土) 那須のランチ号

区間:新宿～那須塩原

リーディングブランド最高級のブランド和牛「とちぎ和牛」や大粒で美味しさがギュッと詰まっている「なすひかり」をPR。



栃木県産農産物PR NHK番組「ときめきとちぎ」

NHK宇都宮番組「ときめきとちぎ」で、栃木県産農産物(地域ブランド農産物を中心に)を使用し、栃木県産農産物「旬」の美味しさや品質の良さを紹介しています。

栃木県産農産物のイメージアップPRを実施することで、より多くの消費者へ認知度向上・イメージアップ及び消費拡大を図ります。

1.番組内容: NHK「ときめきとちぎ」

毎週金曜日午前11時30分～正午

①コーナー名: 「旬のおいしさ直送便」

②放送日: 毎月第2週

③PR食材「キュウリ」

2.出演者: 野菜ソムリエコミュニティ栃木

野菜ソムリエ(NHK指定)

キャスター: 森岡由紀子さん

3.6月の品目: ◇食材「ナス」



◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 6月の予定 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

7日(水)	フレッシュメイト認定式 (宇都宮市: 栃木県JAビル会長室) フレッシュメイト知事表敬訪問 (宇都宮市: 栃木県庁知事室)
8日(木)	協会 幹事会
9日(金)	りんどう研究会現地検討会及び総会
13日(火)	協会 理事会
14日(水)	とちぎ和牛冷蔵保存に係わる商品説明会 (JAビル)
16日(金)	アスパラガス現地検討会 (JAなすの)
19日(月)	花き部会全体会議 (宇都宮市: ホテルニューイタヤ)
19日(月)	いちご王国グランプリ収量審査会 (JAビル)
26日(月)	いちご王国グランプリ本審査会 (JAビル)
27日(火)	特産部会全体会議 (JAビル)
30日(金)	協会 総会



一般社団法人 とちぎ農産物マーケティング協会 (平成29年6月発行)

TEL: 028-616-8787 FAX: 028-616-8715

<http://www.tochigipower.com/> ☎「カラダにとちぎ」で検索